

大井町環境行動計画（町の行動）
実績報告書

（令和6年度）

令和8年2月

目 次

基本目標Ⅰ（自然環境）かけがえのない自然環境を保全していくまち

環境施策Ⅰ－１ 自然環境の保全と再生（水辺・森林・里山・農業）・・・ 1

環境施策Ⅰ－２ 生態系の保全と再生（動植物）・・・ 3

基本目標Ⅱ（脱炭素社会）カーボンニュートラルをめざして行動をおこすまち

環境施策Ⅱ－１ 地球温暖化対策の推進（省エネ・再生可能エネルギー）・・・ 4

環境施策Ⅱ－２ 気候変動の影響への適応（健康被害・自然災害対策）・・・ 6

基本目標Ⅲ（循環型社会）資源循環をすすめる環境負荷が少ないまち

環境施策Ⅲ－１ ごみの減量化と再資源化の推進（廃棄物）・・・ 7

環境施策Ⅲ－２ 食品ロスの削減の推進（食品ロス）・・・ 9

基本目標Ⅳ（生活環境）健康で安全安心に暮らせるまち

環境施策Ⅳ－１ 良好な生活環境の保全（街並み・公園・道路・上水道・歴史的文化）・・・ 10

環境施策Ⅳ－２ 環境汚染の防止（大気・水質・騒音・振動・有害物質）・・・ 11

基本目標Ⅴ（環境教育・環境保全活動）環境パートナーシップの形成をはかるまち

環境施策Ⅴ－１ 環境に関心のある人材の育成（環境教育・環境情報）・・・ 12

環境施策Ⅴ－２ 環境保全活動の推進（協働）・・・ 15

基本目標Ⅰ 自然環境 かけがえのない自然環境を保全していくまち

重点施策Ⅰ 自然環境（生態系）の保全と再生

本町の森林は、県内の水源林として重要なエリアに位置付けられているため、神奈川県が進めている、「かながわ森林再生50年構想」との整合を図り、水源林となる区域の森林保全・再生整備を推進し、公益的機能の回復・再生に努めます。

さらに、近年、丘陵部の里山や農地を中心に、イノシシやシカ等の増殖に伴う農作物被害が深刻化しており、農業者の経営を脅かすとともに、生態系にも影響を与えつつあることから、有害鳥獣の捕獲や被害防止対策を充実させるとともに、遊休農地及び耕作放棄地対策を進めます。

そして、本町の豊かな自然環境の素晴らしさを分かりやすく伝えていくため、町全体を自然博物館とする「おおい自然園」と位置づけ、自然観察会の開催や生きもの調査を行います。また、自然情報の広報等とおして、自然と人との関わりを「学ぶ」、地域の生態系について「親しむ」「知る」「守る」心を養っていくものとします。

取り組み項目

- 森林・里山の保全と再生
- 農地の保全と農業振興
- 動植物の生息・生育環境の保全と再生
- 動植物の情報収集・発信

環境施策Ⅰ-1 自然環境の保全と再生（水辺・森林・里山・農業）

取 り 組 み 項 目

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 水辺環境の保全 | 3 農地の保全と農業振興 |
| 2 森林・里山の保全と再生 | 4 町内農産物の地産地消 |

環境指標

項目	現状値(令和6年度値)	目標値(令和14年度値)
地域水源林整備率	52.44%	100%
「おおいゆめの里」周辺の里山管理の実施回数	10回/年	10回/年
学校給食における町内農産物の地産地消	18.2%	40%

■森林・里山の保全と再生

①荒廃が進みつつある里山を整備・保全することにより、里山の原風景の再生を図ります。（地域振興課）

- 「ゆめの里育て隊」をはじめ、地域で活動する団体、事業者等、多様な主体との協働により、「おおいゆめの里」をはじめとした里山の保全・再生を図ります。

<実績>

「ゆめの里育て隊」の草刈りや散策路整備のほか、官民連携による「おおいゆめの里」内のワークショップを通じ、水源再生作業を実施しました。

②水源林となるエリアの森林保全、再生整備を推進します（生活環境課）

- 森林の水源涵養、土砂の流失・崩壊防止、里山景観の形成、多様な動植物の生息・生育の場等、森林が有する多面的機能の保全・再生を図ります。

<実績>

年度	地域水源林整備面積 (ha)	整備箇所	地域水源林整備率 (%)
令和4年度	36.98	柳地内	49.38
令和5年度	38.11	篠窪地内	50.89
令和6年度	39.27	篠窪地内	52.44

■農地の保全と農業振興

③グリーンツーリズムや里山整備事業等との連携を図るとともに、夢おいファーマー制度等による農業の多様な担い手の確保と農地の集約化を図り、遊休農地及び耕作放棄地対策を進めます。(地域振興課)

○遊休農地や耕作放棄地における都市住民との交流等の有効利用を図り、農地としての維持を推進します。

<実績>

夢おいファーマーとして農地のマッチングを行い、遊休農地対策を実施しました。

マッチング件数 5件 農地面積 2,362㎡

④有害鳥獣による農作物被害の防止のため、防護柵設置補助や有害鳥獣捕獲助成事業を推進します。(地域振興課)

○地域住民と協働で有害鳥獣の駆除を実施します。

<実績>

大井町鳥獣被害防止計画に基づき、農作物被害を防止するため、有害鳥獣の駆除を行いました。

イノシシ 85頭 シカ 59頭 アライグマ 3頭 ハクビシン 8頭 タヌキ 7頭 アナグマ 4頭

環境施策 I - 2 生態系の保全と再生(動植物)

取り組み項目

- 1 野生動植物の生息・生育環境の保全と再生
- 2 動植物の情報収集・発信

環境指標

項目	現状値(令和6年度値)	目標値(令和14年度値)
おおい自然園展示会の開催	1回/年	1回/年
観察会・展示会・生きもの調査の開催	13回/年	16回/年

■動植物の生息・生育環境の保全と再生

⑤ 荒廃が進んだ里山の再生、陽光を入れるため間伐を行い、生態系にも配慮した里山保全を推進します。
(生活環境課、地域振興課)

- 「おおいゆめの里」をはじめとした里山(雑木林)の間伐等を推進し、里山としての保全・再生を図ります。

<実績>

おおいゆめの里の風倒木の伐採や剪定を行うなど、山林整備をしました。

おおいゆめの里育て隊(ボランティア) 10回 延参加人数 103人

■動植物の情報収集・発信

⑥ 町全体を自然博物館ととらえた「おおい自然園」事業の展開を図り、自然の素晴らしさをわかりやすく伝えていきます。(生涯学習課)

- 自然観察会の開催や生きもの調査、自然情報の広報を行うとともに「おおい自然園展示会」等を開催します。

<実績>

観察会・展示会・生きもの調査の開催回数

年度	開催
令和4年度	15回
令和5年度	14回
令和6年度	13回

基本目標Ⅱ 脱炭素社会 カーボンニュートラルをめざして行動をおこすまち

重点施策Ⅱ 地球温暖化対策の推進と気候変動への適応

令和32（2050）年のカーボンニュートラルの実現に向けて、町域から排出される温室効果ガス発生量を抑制するため、町職員が率先して、より一層の省エネ行動の徹底を図り、公用車のZEV化やエコカーの普及促進を図っていきます。また、公共施設等において、積極的に再生可能エネルギーの導入を図りつつ、町民に対しても普及の推進を図るものとします。

さらに、気候変動への適応として、健康被害対策や自然災害対策に力を注ぎ、町民の生命・財産を守るとともに、安全安心な暮らしの確保を図っていきます。

取り組み項目

- 町職員における率先した省エネ行動等の徹底
- 再生可能エネルギーの有効利用の促進
- 脱炭素に向けた町民への意識啓発
- 健康被害対策の推進
- 自然災害対策の推進

環境施策Ⅱ-1 地球温暖化対策の推進（省エネ・再生可能エネルギー）

取り組み項目

- 1 町職員における率先した省エネ行動等の徹底
- 2 再生可能エネルギーの有効利用の促進
- 3 脱炭素に向けた町民への意識啓発

環境指標

項目	現状値(令和6年度値)	目標値(令和14年度値)
大井町全域から排出される温室効果ガス排出量の基準年度（※1）からの削減割合	8%減 (令和4年度値)	46%減 (令和12年度値)
公用車のZEV化	1台	14台
住宅用太陽光発電設備設置費補助 (累計)	405件	600件

※1 基準年度：国の基準年度である平成25（2013）年度

■町職員における率先した省エネ行動等の徹底

①公共施設における空調の温度管理、照明管理などを徹底し、使用電力の抑制を図ります。（総務課）

○町の事務事業から発生する温室効果ガス排出量を抑えるとともに、積極的に省エネ・創エネ・蓄エネの推進に取り組めます。

<実績>

公共施設における空調の温度管理等については、温度、湿度、気流などを定期的、総合的に測定管理するとともに、執務室内の照明をLED化することにより、使用電力の抑制に努めました。

②公用車のZEV化を推進します。（総務課）

<実績>

年度	導入台数	総台数
令和4年度	0台	1台
令和5年度	0台	1台
令和6年度	0台	1台

■再生可能エネルギーの有効利用の促進

③公共施設の敷地等において、積極的に再生可能エネルギーの導入を検討します。

(総務課、防災安全課、子育て健康課、生活環境課、地域振興課、都市整備課、教育総務課、生涯学習課)

<実績>

庁舎の電気供給は、風力発電が主である自然エネルギー由来の電力の供給を受けており、CO2排出の削減に寄与しています。また、各公共施設において導入している太陽光発電システムにより発電した電力を有効活用しています。

(年間発電量)

施設名	発電量	備考
生涯学習センター	142.4kw	
大井中央公園休憩所棟	4,539.1kwh	
防災倉庫	6,147kw	電気料の売電：52,859円
大井小学校	-	※設備不良のため測定不可
上大井小学校	12980.5kw	
相和小学校	9350.4kw	
湘光中学校	-	※設備不良のため測定不可
学校給食センター	-	※機器故障中のため測定不可

④住宅用太陽光発電設備を設置する町民に対し、補助金を交付します。(生活環境課)

<実績>

年度	交付件数	総交付件数
令和4年度	30件	355件
令和5年度	18件	373件
令和6年度	32件	405件

■脱炭素に向けた町民への意識啓発

⑤エコカーの普及促進を図るため、電気自動車の購入及び電気自動車用急速充電設備の設置に対し補助を行います。(生活環境課)

<実績> 電気自動車等購入補助申請件数

年度	四輪車	二輪車
令和4年度	10件	0件
令和5年度	5件	0件
令和6年度	4件	0件

<実績> 電気自動車用急速充電器設置費補助申請件数

年度	急速充電器
令和4年度	0件
令和5年度	0件
令和6年度	0件

環境施策Ⅱ-2 気候変動の影響への適応(健康被害・自然災害対策)

取 り 組 み 項 目

- 1 健康被害対策の推進
- 2 自然災害対策の推進

環境指標

項目	現状値(令和6年度値)	目標値(令和14年度値)
ハザードマップの周知等、避難行動の啓発	24回/年	25回/年

■健康被害対策の推進

⑥熱中症予防の周知を図る体制・仕組みづくりを検討します。(子育て健康課、生活環境課、教育総務課、生涯学習課)

<実績>

改正気候変動適応法に係る対応として、都道府県から熱中症特別警戒情報の通知を受信した際の連絡体制について関係各課(子育て健康課、生活環境課、防災安全課)にて検討を行い、連絡体制を確立しました。

また、クーリングシェルターとして大井町役場庁舎、生涯学習センター、大井町総合体育館、大井町保健福祉センター、そうわ会館を指定いたしました。

■自然災害対策の推進

⑦町民へのハザードマップの周知と避難行動の啓発を推進します。(防災安全課)

<実績>

広報おおいで災害についての啓発記事を毎月掲載するとともに、出前講座で自治会・小中学校・各団体の依頼により防災対策に係る講話や施設見学などを行いました。

出前講座実績 24回 707名参加

基本目標Ⅲ 循環型社会 資源循環をすすめる環境負荷が少ないまち

重点施策Ⅲ ごみの減量化と資源化

本町では、分別収集、資源回収の推進、段ボールコンポスト普及啓発、書道反古紙再生プロジェクトなど、ごみの減量化と再資源化に努めていますが、さらに廃棄物の減量化を推進するため、3R（発生抑制「Reduce：リデュース」、再使用「Reuse：リユース」、再生利用「Recycle：リサイクル」）の取り組みに対する町民や事業者に対する意識の高揚、ごみの減量化の促進や各種リサイクル制度の周知、ごみの分別の徹底、新たな分別の検討などを積極的に行っていきます。

また、本町内の各所でごみの不法投棄が多くみられることから、不法投棄を許さない町として、県・警察、さらには町民や事業者等と連携し、不法投棄の徹底的な撲滅を図っていきます。

取り組み

- ごみの減量化と不法投棄の防止
- 再資源化の促進

環境施策Ⅲ-1 ごみの減量化と再資源化の推進(廃棄物)

取 り 組 み 項 目

- 1 ごみの減量化と不法投棄の防止
- 2 再資源化の促進

環境指標

項目	現状値(令和6年度値)	目標値(令和14年度値)
1人1日当たりのごみ排出量	764g/人・日	689g/人・日
ごみ資源化率	22.2%	24.0%
不法投棄廃棄物の撤去量	8.5t/年	0t/年
剪定枝収集量	66.7t/年	120t/年

■ごみの減量化と不法投棄の防止

①公共施設におけるごみの減量化と再資源化を図ります。（総務課、生活環境課）

<実績>

Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の3Rにもとづき、引続き廃棄物の発生を少なくすることや、使用済製品やその部品等を繰り返し使用すること、廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用することを徹底します。

②生ごみの資源化を推進するため段ボールコンポストの普及促進を図ります。（生活環境課）

○燃えるごみに多く含まれる生ごみの減量化と再資源化を図るため、安価で堆肥化が可能な段ボールコンポストの普及促進を図ります。

<実績>

生ごみの減量化・再資源化に向けて、広報やホームページにおいて段ボールコンポストの無料配布の記事を掲載するとともに、環境展においても無料配布を実施しました。

③不法投棄防止を目的としたパトロールを実施するとともに、不法投棄物の撤去及び不法投棄多発箇所への再発防止策を実施します。（生活環境課）

○町内全域を対象とした環境パトロールを実施し、不法投棄の防止を図るとともに、不法投棄物や散乱ごみを撤去し、二次投棄等の防止を図ります。また、県、警察と連携し、不法投棄の撲滅に向けた取り組みを進めます。

<実績>

毎週1回不法投棄防止等を目的とした環境パトロールを実施し、併せて四半期ごとに県との合同パトロールを行うとともに、不法投棄が頻繁に発生する場所に監視カメラや看板を設置しました。

環境パトロール実績

年度	実施回数	回収した不法投棄廃棄物（t）	回収した美化清掃ごみ（t）
令和4年度	47	4.4	0.0
令和5年度	47	6.0	1.2
令和6年度	42	8.5	1.3

※全て職員で対応したため皆無

④あしがら上地区資源循環型処理施設の整備を推進します。（生活環境課）

○ごみの減量や資源化、ダイオキシン類の排出抑制を図るため、足柄上地区1市5町によりごみ処理の広域化を推進します。

<実績>

施設建設に係る住民理解の促進を図ることを目的に、建設予定地の周辺地域において、生活環境影響調査を実施するとともに施設の規模や処理方式等の施設整備に関する基本的事項をまとめ、施設整備の基礎資料とする「足柄上地区新可燃ごみ処理施設に係る施設整備基本計画」を策定しました。

■再資源化の促進

⑤自治会等の資源回収活動を支援します。（生活環境課）

○ごみの減量化と資源の有効利用に対する意識を高めるため、地域住民で組織する各種団体の資源回収活動に対し支援を行います。

<実績>

年度	実施団体	延べ実施回数	総回収量（kg）	奨励金交付額
令和4年度	10	30	15,302	60,000円
令和5年度	9	26	12,031	52,000円
令和6年度	8	25	13,610	50,000円

⑥家庭などから収集した剪定枝をチップ化し、有効活用を図ります。（生活環境課）

○剪定枝破碎処理委託事業を通じて生成された剪定枝チップの使用促進を図り、ごみの減量化と家庭菜園等での幅広い活用を促進します。

<実績>

年度	収集回数	収集件数	収集量（t）
令和4年度	97	延べ952	115.9
令和5年度	93	延べ871	85.7
令和6年度	95	延べ640	66.7

環境施策Ⅲ－2 食品ロスの削減の推進(食品ロス)

取 り 組 み 項 目

1 食品ロス削減の推進

環境指標

項目	現状値(令和6年度値)	目標値(令和14年度値)
町民への食品ロス問題の周知の啓発回数	2回	4回

基本目標Ⅳ 生活環境 健康で安全安心に暮らせるまち

重点施策Ⅳ 環境汚染の発生防止と生活排水対策の推進

町民が健康で安全安心に暮らせるよう、健康の保護や安全の確保のために、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭等の環境汚染の発生防止を図るとともに発生時における早期対応の徹底を図ります。

また、事業者に対しては、「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」や関係法令等に基づき、県と連携し環境汚染の発生防止に努めるとともに積極的な指導を行います。

さらに、市街化調整区域内の効率的な下水道整備を推進するとともに、下水道処理区域外については、合併処理浄化槽の設置及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切り替えや適正な維持管理の促進を図ります。

取り組み

- 美しい街並みの保全
- 公園整備・緑化事業の推進
- 河川・水路の水質保全

環境施策Ⅳ-1 良好な生活環境の保全(街並み・公園・道路・上水道・歴史的文化)

取 り 組 み 項 目

- 1 美しい街並みの保全
- 2 公園整備・緑化事業の推進
- 3 快適な道路の整備
- 4 上水道の安全で安定した供給
- 5 歴史的文化遺産の保全

環境指標

項目	現状値(令和6年度値)	目標値(令和14年度値)
(再掲) 不法投棄廃棄物の撤去量	8.5t	0t

■美しい街並みの保全

①不法投棄、ポイ捨て防止のための意識啓発を図るとともに、事業者、学校、団体等が自主的に行う美化活動を支援します。(生活環境課)

<実績>

町民や各種団体の協力により、町をきれいでさわやかな故郷とすることを目的に、11月に「クリーンキャンペーン2024」を実施しました。また、美化活動の促進として、自治会が行う美化活動に対して助成金を交付しました。

■公園整備・緑化事業の推進

②町民や団体等による自主的な緑化活動を支援します。(生活環境課)

<実績>

苗代の助成や苗の無料配布など資金的な支援を行い、自治会や有志による公共用地の緑化活動の推進を行いました。
助成実績団体数：春季20件、秋季20件

環境施策Ⅳ－２ 環境汚染の防止(大気・水質・騒音・振動・有害物質)

取 り 組 み 項 目

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 大気汚染の防止 | 3 騒音・振動対策 |
| 2 河川・水路の水質保全 | 4 有害物質対策 |

環境指標

項目	現状値(令和6年度値)	目標値(令和14年度値)
公害苦情件数	0件/年	0件/年
水質環境基準達成率	100%	100%
汚水処理人口普及率	市街化区域	100%
	市街化調整区域	93.5%
下水道接続率	96.7%	100%
合併処理浄化槽維持管理費補助事業申請率	60%	100%

■河川・水路の水質保全

③町内の主要河川（9箇所）の水質調査を行います。（生活環境課）

<実績>

検査は半期に一度、年2回実施しました。すべての地点において規制値等を上回ることはなく、良好な結果でした。また、環境の悪化を懸念させるような内容もありませんでした。

④下水道整備の推進による未接続世帯の解消を図ります。（生活環境課）

○市街化調整区域内において、未接続の世帯や事業所に対しては戸別訪問等をさらに積極的に行い、接続率の向上を図ります。

<実績>

市街化区域内の公共下水道による水洗化率状況

年度	区域面積 (ha)	許可区域 面積 (計画面積) (ha) A	整備済面積 (ha) B	面積整備率 (%) B/A	市街化区域内 人口 (人)	整備済区域 内人口 (人) C	整備済区域内 接続人口 (人) D	接続率 (%) D/C
令和4年度	348.0	348.0	348.0	100.0	14,661	14,661	14,361	98.0
令和5年度	348.0	348.0	348.0	100.0	14,865	14,865	14,650	98.6
令和6年度	348.0	348.0	348.0	100.0	14,826	14,826	14,617	98.6

市街化調整区域内の公共下水道による水洗化率状況

年度	区域面積 (ha)	許可区域 面積 (計画面積) (ha) A	整備済面積 (ha) B	面積整備率 (%) B/A	市街化調整区 域内人口 (人)	整備済区域 内人口 (人) C	整備済区域内 接続人口 (人) D	接続率 (%) D/C
令和4年度	1,090.0	99.0	92.6	93.5	2,759	1,281	1,027	80.2
令和5年度	1,090.0	99.0	92.6	93.5	2,597	1,153	821	71.2
令和6年度	1,090.0	99.0	92.6	93.5	2,528	1,132	809	71.5

⑤合併処理浄化槽設置の促進を図ります。（生活環境課）

○合併処理浄化槽の普及及び適切な管理を促進するため合併処理浄化槽維持管理費補助事業を実施します。

<実績>

補助事業実績及び合併処理浄化槽設置状況（下水道供用区域外）

年度	補助金交付件数	補助金額（円）	設置基数（累計）	申請率（%）
令和4年度	126	3,848,240	206	61
令和5年度	123	3,745,660	205	60
令和6年度	123	3,722,820	205	60

基本目標 V 環境教育・環境保全活動 環境パートナーシップの形成をはかるまち

重点施策 V 環境教育の推進と環境情報の発信

本町の豊かな自然環境を保全していくためには、町民や事業者、特に、これからの大井町を担う小・中学生の高い環境への意識を醸成するとともに、一人ひとりが自主的に考え、取り組むための仕組みづくりを推進する必要があります。

そこで、環境学習会や情報提供、環境イベントなどを通じて、環境についての意識の高揚を図り、本町の環境や地球環境のための自主的な行動が展開される施策を実施していきます。

取り組み

- 環境教育・環境学習の推進
- 環境情報の発信
- 町民・事業者等との協働

環境施策 V-1 環境に関心のある人材の育成(環境教育・環境情報)

取り組み項目

- 1 環境教育の推進
- 2 環境情報の発信

環境指標

項目	現状値(令和6年度値)	目標値(令和14年度値)
環境展の来場者数	800人	2,500人
自然観察会の開催	12回/年	12回/年
環境出前講座の実施回数	2回/年	8回/年
大井町史(別編 自然)の定期的な販売冊数	4冊/年	1冊/年
(再掲) おおい自然園展示会の開催	1回/年	1回/年

■環境教育・環境学習の推進

①環境展にて環境関連分野の展示、体験、学習の場を提供し、環境意識の向上を図ります。(生活環境課)

○事業者や各種団体等の協力のもと、環境改善に関する技術や活動の紹介等を行い、町民等への環境学習、情報提供、意識啓発を図ります。

<実績>

年度	来場者数
令和4年度	300人
令和5年度	800人
令和6年度	800人

②環境学習の推進を図るため、自然観察会等を実施します。(生涯学習課)

<実績>

令和6年度には自然観察講座を含め、自然観察会などを合計12回開催しました。
観察会等には述べ200名が参加し、大井町の自然環境について楽しみながら学びました。

③「脱炭素」・「循環」・「自然共生」の各分野における出前講座を推進します。（生活環境課）

<実績>

ごみに関する出前講座を2回実施しました。（大井保育園、相和小学校）

出前講座実施回数

年度	実施回数
令和4年度	3回
令和5年度	2回
令和6年度	2回

■環境情報の発信

④町広報、ホームページにおいて、「大井町史（別編／自然）」を活用し、町の自然を紹介します。（生涯学習課）

<実績>

令和6年度には町広報において、全12回の内、町の自然を7回紹介しました。

年度	掲載月	内容
令和4年度	4	トゲアシヒメハナバチ
	5	-
	6	マルタニシ
	7	-
	8	ルリボシカミキリ
	9	-
	10	ヤマトシジミ
	11	-
	12	スッポンタケ
	1	-
	2	モズ
	3	-
令和5年度	4	ヒメナガメ
	5	杉の板戸絵
	6	マイマイガ
	7	上大井三嶋神社の算額
	8	イヌシデ
	9	金子台遺跡のストーンサークル
	10	アシプトムカシハナバチ
	11	稲荷社の夫婦銀杏
	12	ニホンジカとヤマビル
	1	金手祭ばやし
	2	ホトケノザ
	3	酒匂堰取入口跡
令和6年度	4	ハラグロオオテントウ
	5	椎の木森
	6	ラミーカマキリ
	7	敷石住居跡
	8	ボウズハゼ
	9	ムクロジ
	10	ウラナミシジミ
	11	二階堂政貞屋敷跡
	12	リョウメンシダ
	1	篠窪麦打唄
	2	カルガモ
	3	田植唄

⑤おおい自然園展示会の開催等により、町の自然を紹介します。(生涯学習課)

○本町に生息・生育する動植物を保全するため、町全体を「おおい自然園」ととらえ、動植物の生息・生育状況について情報を収集するとともに、「おおい自然園展示会」等を開催し、町の自然を紹介します。

<実績>

おおい自然園展示会を11月14日～19日までの6日間で、生涯学習センター2階第1～4会議室において実施しました。17日には事前申込制のギャラリートークを開催し、6日間で延べ382人が展示会に参加しました。

年度	事業名	参加者数	参加対象者
令和4年度	自然観察会	春15人	小学3年生以上(火山灰観察会・海の生きもの・里山炭焼き体験は小学4年生以上)
		初夏16人	
		秋14人	
		冬4人	
	生きもの調査	24人	
	川の生きもの観察会	12人	
	夏の虫観察会	11人	
	酒匂川の岩石観察会	12人	
	酒匂川の野鳥観察会	13人	
	火山灰観察会	11人	
	海の生きもの観察会	12人	
	月・惑星・星座観察会	15人	
	冬の星座観察会	15人	
	里山炭焼き体験	30人	
おおい自然園展示会	182人	一般	
令和5年度	自然観察会	春12人	小学3年生以上(火山灰観察会・海の生きもの・里山炭焼き体験は小学4年生以上)
		初夏14人	
		秋10人	
	生き物調査	18人	
	川の生きもの観察会	13人	
	川の自然と人のくらし観察会	4人	
	夏の虫観察会	14人	
	自然観察講座	10人	
	酒匂川の野鳥観察会	9人	
	火山灰観察会	7人	
	海の生きもの観察会	18人	
	月・惑星・星座観察会	17人	
	冬の星座観察会	11人	
	おおい自然園サポーター養成講座	14人	
酒匂川の野鳥観察会	9人		
おおい自然園展示会	271人	一般	
令和6年度	自然観察会	春13人	小学1年生以上(海の生きもの・椎の木森観察会・里山炭焼き体験は小学3年生以上)
		初夏27人	
		椎の木森8人	
	川の生きもの観察会	26人	
	海の生き物観察	15人	
	夜の虫さがし	23人	
	月・惑星・星座観察会(夏)	中止	
	酒匂川の岩石観察	17人	
	冬の星座と惑星観察会	24人	
	酒匂川野鳥観察会	16人	
	炭焼き体験	26人	
	自然観察講座	9人	
おおい自然園展示会	382人	一般	

環境施策V-2 環境保全活動の推進(協働)

取組み項目

1 町民・事業者等との協働

環境指標

項目	現状値(令和6年度値)	目標値(令和14年度値)
(再掲) 「おおいゆめの里」周辺の里山管理 の実施回数	10回/年	10回/年

■町民・事業者等との協働

⑥ボランティア団体「ゆめの里育て隊」をはじめ、地域で活動する団体、事業者等、多様な主体との協働により積極的に里山管理を推進します。(地域振興課)

<実績> 【2頁①に掲載】

⑦自然観察会等の指導者を養成し、指導者間の交流を通して自然環境保全を促進します。(生涯学習課)

<実績>

おおい自然園自然観察講座や自然観察会を開催し、サポーターの知識を深め、サポーターの育成を図りました。